

赤潮情報第45号

(八代海: カレニア ミキモトイ警報 続報、シャットネラ属 警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

カレニア ミキモトイが8,000細胞 確認されており、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県が調査したところ、カレニア ミキモトイが天草市楠浦湾で海水1mL 当たり最大8,000細胞、確認されました。また、シャットネラ属が八代海湾奥で最大2細胞、確認されました。海況によって、増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

両種ともに有害で、魚介類がへい死する恐れがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、餌止めや赤潮駆除剤散布等の対策を行ってください。

※数字は水深0m, 5mの海水1mL当たりのカレニア ミキモトイの細胞数、()の数字はシャットネラ属の細胞数です。

×印:全ての採水層でカレニア ミキモトイ及びシャットネラ属が0細胞の調査点。●はカレニア ミキモトイによる着色域です。

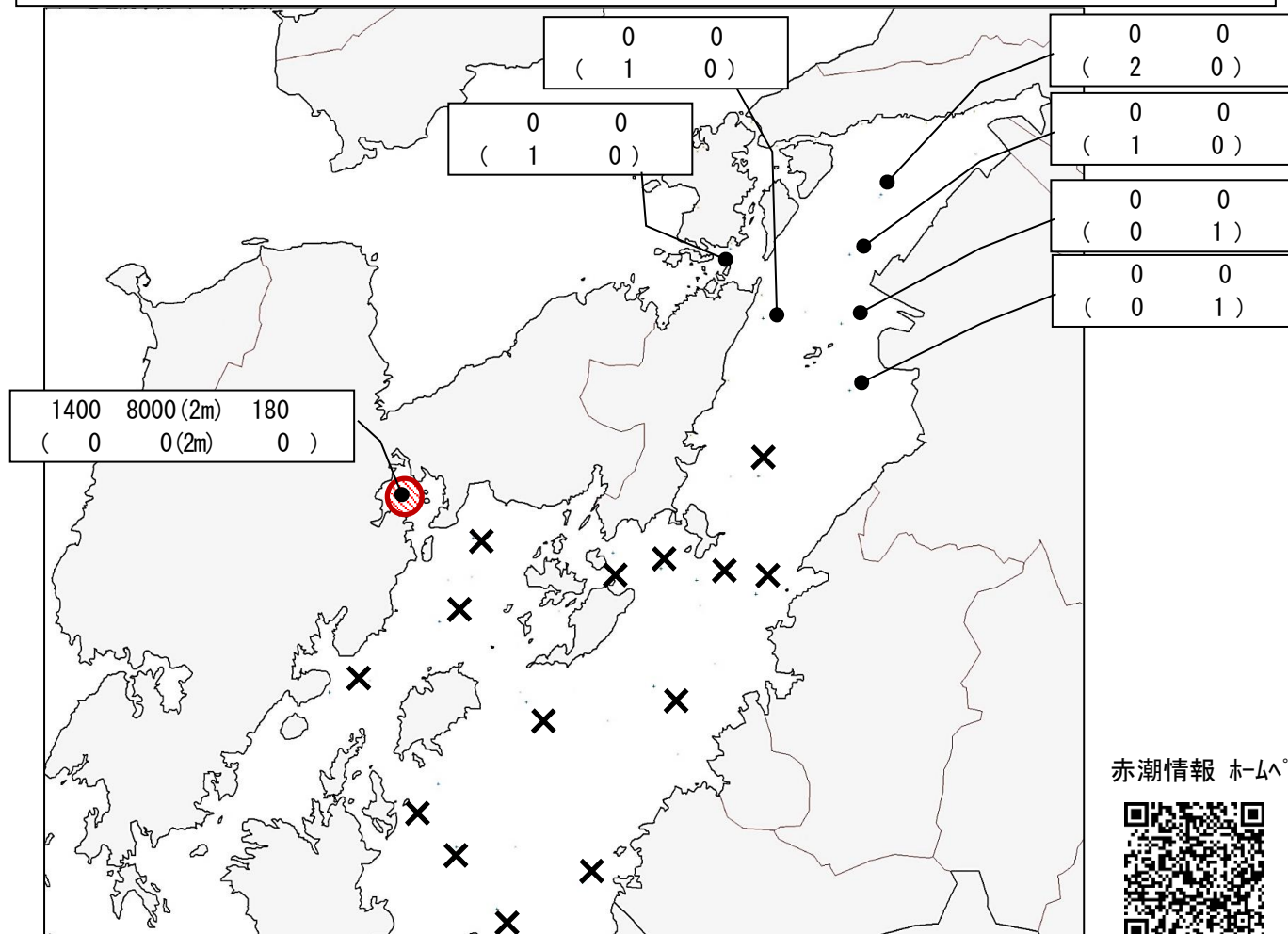


図 赤潮発生海域

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット



調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください
(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1